

自治基本条例検討試案	.....2・3
国民年金制度が変わります	.....4
農業公園・体験農園利用者を募集	.....5
三鷹市健康づくり目標素案	.....8
手話講習会参加者募集	.....9
乳がん、子宮がん検診	.....10
小・中一貫教育校検討委員募集	.....11

## 10月本格開講に向けてスタート！ 三鷹ネットワーク大学〔インキュベート施設〕(仮称)

# 14の教育・研究機関と三鷹市が 基本協定を締結

各機関の代表が一堂に会した協定式。  
正面は清成志男法政大学総長



「三鷹ネットワーク大学〔インキュベート施設〕(仮称)」に参加する14の教育・研究機関の学長、理事長などが、3月18日市役所に集まり、基本協定の締結が行われました。三鷹ネットワーク大学は、市とこれら機関の協働により、各機関と地域の知的資源を活用した人材の育成や新事業創出支援、高度な学習機会の提供などを目的として設立されます。昨年10月から実施している「プレ開講」講座は、参加機関の特色を生かしていずれも好

評で、今年10月に予定されている本格的な開講に向けて、さらに準備を進めています。プレ開講講座はこれからも随時開催されますので、みなさんもぜひご参加ください。⇒企画経営室「あすのまち・三鷹」プロジェクト担当 ☎内線3291

「あすのまち・三鷹」プロジェクト「民学産公」が協働で実証実験を行い、近未来のより豊かな地域社会を少し早めに三鷹市で実現しようという取り組み。現在約60団体が参加。

参加教育・研究機関

- アジア・アフリカ文化財団
- 亜細亜大学
- 杏林大学
- 国際基督教大学
- 国立天文台
- 電気通信大学
- 東京工科大学
- 東京農工大学
- 日商簿記三鷹福祉専門学校
- 日本女子体育大学
- 法政大学
- 明治大学
- 立教大学
- ルーテル学院大学 (50音順)

### 4月からのプレ開講講座

三鷹ネットワーク大学では、4月からもさまざまなプレ開講講座を開催します。今回のプレ開講講座は、昨年10月～今年3月の講座に参加いただいた200人を超える方々からのアンケートのアイデアなども活かして実施しています。

なお、6月以降にも「天文学連続講座初級編」「三鷹市における市民参加の歴史(仮題)」「子育て支援講座(仮題)」などを予定しています。くわしくは、「広報みたか」などでお知らせします。

▶事前に「あすのまち・三鷹」推進協議会事務局 ☎40-0313・☎40-0314・✉mnet-u@mitaka.ne.jpへ申し込む。

くわしくは同事務局へ。

講座タイトル	日時	受講料
女性のための起業講座	4月12日(火)・19日(火)・26日(火)午前10時～正午【3回連続】	3,000円 先着20人 保育あり
シニア向け起業講座	Aコース(昼開講) 5月10日(火)午後1時～5時	3,000円 先着20人
	Bコース(夜開講) 5月17日(火)・31日(火)午後7時～9時	3,000円 先着20人
SOHOベンチャーカレッジ(第5期)	6月7日～7月19日の毎週火曜日(全7回)	30,000円 (市民・学生は割引) 先着20人

会場はいずれも三鷹産業プラザ7階  
保育(対象:1歳～未就学児、1人1,000円、定員3人)をご希望の方は事務局へ。



完成間近！  
駅前拠点施設

三鷹駅からデッキで結ばれた三鷹駅前協同ビル3階に、三鷹ネットワーク大学の拠点が整備されます。

「三鷹市健康づくり目標素案」がまとまりました。  
くわしくは8面へ

### 自治基本条例検討試案ができました

市が取り組む自治基本条例(仮称)の制定で、昨年の「条例要綱案」に続き、「三鷹市自治基本条例検討試案」ができました。

この条例試案は、今後、「まちづくり懇談会」や「出前説明会」などの市民参加の取り組みを進め、平成17年度の市議会への提案を目指します。

くわしくは2・3面へ

こうした出会いから、私はいつもさまざまな見識だけでなく、「生き方」を学んでいます。これからも市民のみなさんとの出会いを大切にしていきたいと思っています。

また、最近、図書館で市民のみなさんに向けて講演をしてくださった市内在住の絵本と紙芝居作家であるまついのりこさん(写真左)とお話する機会を得ました。まついさんは、絵本や紙芝居作りとその普及を通して、大人が今を生きる子どもたちとふれあい、相互に心を耕し合う実践をされています。近く市が刊行する『土地利用総合計画都市マスタープラン』の表紙の絵にも協力をしてくださっていました。

また、最近、図書館で市民のみなさんに向けて講演をしてくださった市内在住の絵本と紙芝居作家であるまついのりこさん(写真左)とお話する機会を得ました。まついさんは、絵本や紙芝居作りとその普及を通して、大人が今を生きる子どもたちとふれあい、相互に心を耕し合う実践をされています。近く市が刊行する『土地利用総合計画都市マスタープラン』の表紙の絵にも協力をしてくださっていました。

4月を迎えました。3月の定例議会でも決された新年度の予算執行にあたり、市民のみなさんの立場に立った市政運営に努めます。さて、私は、毎日たくさんの方のみなさんと出会うことで、成長する機会を得ています。たとえば、毎月、88歳、99歳、100歳以上になられる市民のみなさんを、誕生日に訪問してお祝いしています。先日88歳のお祝いに伺って出会ったのが、歌人の宮英子さん(写真右)です。宮さんは亡夫の歌人宮柊一さんの後を引き継いで、4月で通巻631号となる短歌同人誌「コスモス」の編集兼発行人をされています。米寿を記念して、八十八首の歌を編んだ『八十八夜詠』も刊行されました。宮さんは、歌を詠むことで生を尊び、歌を通じたつながりで文芸の力を時と地域を越えて広げています。

### 市長コラム 出会いから学ぶ日々



三鷹市長

清原慶子